

丹波市議会だより

たんぱりんぐ

令和 4 年

1

No.68

TAMBA CITY

6月

9月

3月

12月

定例会は年 4 回



たんぱりんぐ

画：兵庫県立柏原高等学校 美術部

CONTENTS

ココがギロンの論点（P2 ～ P6）、議案の審議結果（P7）、
ココが聞きたい！一般質問（P8 ～ P13）、市民との意見交換会（P14 ～ P15）、
議員定数と議員報酬（P16 ～ P18）、お知らせ（P19）

Open!

賛成少数で否決！

燃やすごみ袋料金が兵庫県下一高い丹波市は、ごみの減量化も喫緊の課題。ごみ袋料金とごみ減量施策は別で考え、高い燃やすごみ袋料金を半額にしたいという市に対し、ごみ袋料金とごみ減量化とは相関関係があり半額化は時期尚早だという市議会。本会議では審議不十分として民生産建常任委員会に再付託されるなど、激しい議論が起こりました。

議論の前提

1 「ごみ袋半額」は市長公約

林市長は、県下一高い燃やすごみ袋を半額にすることなどを公約に掲げ、令和2年11月に行われた丹波市長選挙で当選。

2 丹波篠山市で処理している山南地域のごみを、令和9年度から丹波市クリーンセンターで受け入れが決定している

丹波市が誕生する前から旧山南町のごみは丹波篠山市清掃センターで処理しており、令和2年度で約1億円もの処理経費が発生している。

その丹波篠山市との協定は令和8年度までとなっており、令和9年度から山南地域のごみを丹波市クリーンセンターで受け入れることとなっている。

3 丹波市クリーンセンターでは燃やすごみ処理能力のぎりぎりを推移

丹波市クリーンセンターにおける安定稼働目安量は年間約12,880トンまでであるが、現状すでに13,975トンを処理している状態。現在のごみの受け入れ量から2割は削減しないと山南地域のごみを受け入れることは不可能。

4 廃棄物減量等推進審議会の半額化に対する答申は「概ね妥当」

審議会からは、燃やすごみ袋の半額は「概ね妥当」という答申が出された。審議会の議論の中では「半額化はもっと先で行うのがよいのではないか」「無料でもよい」などの意見もあり、半額化の妥当性を「概ね」と結論づけた。

5 分別促進のためプラスチック系ごみ袋は令和3年8月に半額以下に

プラスチック製容器包装の分別を促進させるため、令和3年8月にプラスチック系ごみ袋を半額以下に改定。その結果、プラスチック製容器包装の分別が促進され、燃やすごみの減量が確認されたが、それほど大きな変化ではなかった。

※ 審議会：廃棄物減量等推進審議会のこと。

審議会からの答申を重く受け止め、半額化自体は賛成。しかし、燃やすごみの減量に向けての施策が行われる前の半額化は時期尚早。

燃やすごみ袋 半額議案

賛成意見

③ 審議会からの答申が出ている

審議会のごみ袋料金半額について「概ね妥当と判断した」との答申を出された。大きな認識間違いなどが無い限り、議会はこの答申内容を尊重すべきだ。

④ 財源は十分にある

ごみ袋料金を半額にすれば市の負担が年間約6千万円増えるから反対だとの主張があるが、丹波市の財政はずっと黒字で、財政調整基金も55億円ある。ため込まずにもっと市民サービスに使うべきだ。

また、減量化によりごみ処理費用の削減が見込め、さらに令和9年度から山南地域のごみを丹波市で受け入れれば約1億円が浮く。

これらの事情を総合的に考えると、燃やすごみ袋を半額にする財源は十分にあると言える。

① 県下一高いごみ袋料金は丹波市のイメージを損なう

県下一高いごみ袋料金は、丹波市のイメージを損ない、住民サービスが十分でないイメージを与えている。実際にU・Iターン者からのごみ袋料金に関する評判は良くない。今日まで手をつけなかった過去の市長・関係者の責任は重大で、一刻も早くこのよくないイメージの回復を図るべきだ。

② 半額にしても分別施策で燃やすごみは減る

「半額にするとごみが増える」との主張があるが、ごみ袋料金を値下げした他の自治体では、ごみの量は現状維持か、少し増えた後に減っていくことが報告されている。

先行して実施されているプラスチック製容器包装の分別に加え、剪定枝、雑がみ、生ごみなどの分別など、強力なごみ減量対策を実施すれば、確実にごみは減るだろう。



赤色の文字の袋

緑色の文字の袋

燃やすごみ袋 半額化



⑤ 市民の行動に変化を起こす行政施策で評価する

減量の成果が出たらごみ袋を半額にするというのは、市民に対して一定の条件を付すことになり、行政の立場でなすべきことではないと市からの発言があった。しかし我々は市民の行動変容がみられるかどうかで判断するのではなく、行政が市民の行動変容を促す施策を打つかどうかに着目し、判断している。

また、基本的に行政の責任は市民の行動変容を促す施策を行うことまでであり、その先にある市民による減量結果の責任までを負う必要はないと考える。

減量施策が効果的に行われたことを確認したうえで、燃やすごみ袋半額化を決定したい。



丹波市クリーンセンター

④ 半額化で市民が得するわけではなく、よく分別している市民ほど割を食う

燃やすごみ袋（大）の料金自体は 80 円であるが、実際の処理費用はもっと高い（400 円程度）。

つまり 80 円は直接的な自己負担で、残りの 320 円は市が負担している。市が負担しているということは、市民全体で間接的に負担を分け合っていることになり、市民全体で考えると半額化で得をするわけではない。

今後の廃棄物処理施策で市民全体に益があるとすれば、分別などにより全体のごみ処理費用を軽減すること、さらにその結果、丹波篠山市清掃センターで処理しているごみを丹波市クリーンセンターで処理することで得られる約 1 億円の財源を市民サービスに活用することに尽きる。

しかし、燃やすごみ袋が半額になると、分別しきれていない分量の自己負担コストも半減されるため、市民の分別意識が高まりにくくなることが懸念される。

さらに、その分のコストを市民全体で負担し合うことになるため、真面目に分別している市民ほど割を食う構造になってくる。

真面目に分別している市民のためにも、燃やすごみ袋の半額化は、ごみと資源の分別行動が定着するような施策を打ってから行うべきだと考える。

賛成！ 反対！ 討論！

反対意見

① ごみ袋料金を半額にすること自体は賛成

丹波市の燃やすごみ袋（大）だけを近隣市町と比較すると高いが、丹波市では分別済みのカン、ビン、ペットボトルなどの資源は無料で回収されている。

近隣市の一部では、燃やすごみ袋の料金は比較的安いものの資源回収が有料となっているため、市民一人当たりの廃棄物処理費負担で比較すると、年間 2,000 円弱で近隣市と大差ない。（算出方法：令和 2 年度決算 ごみ収集手数料÷令和 2 年国勢調査人口）

ただし、県下一高い燃やすごみ袋は丹波市のイメージを悪くするという声があるのは事実。さらに市長がごみ袋半額を市長公約に掲げて当選したこと、また審議会から「概ね妥当」と答申があったことは重く受け止めるべき民意である。

そのため、近隣市の相場（丹波篠山市 45 円、西脇市 35 円、朝来市 60 円、福知山市 44 円）に合わせた 40 円とすることには賛同する。

また、分別が促進されるのであればごみ袋料金は無料でもよい。

② ごみ袋の半額化と減量施策を完全に切り離しては考えられない

平成 23 年に燃やすごみ袋を 100 円から 80 円に減額した際にはごみの量が増えた。また令和 3 年 8 月にプラスチック系ごみ袋を減額した際にもごみ量に変化があった。つまり、ごみ袋の料金とごみの量には相関関係が認められる。

今回の条例改正は県下一高い燃やすごみ袋を半額化したいというものであって、ごみの減量に言及するものではないというのが市の考え方であるが、過去の事実を踏まえると、ごみ袋料金と減量施策は切り離しては考えられない面がある。

そのため、ごみの減量化という喫緊の課題も踏まえながらごみ袋の料金設定を考えるべきだ。

③ 減量施策を行ってから半額化すべきで、それまでは時期尚早

丹波篠山市清掃センターで処理している山南地域のごみを令和 9 年度から丹波市クリーンセンターで処理することから、市長はそこで得られる財源（約 1 億円：令和 2 年度決算をもとに算出）を燃やすごみ袋半額化の財源にしている。その財源確保のためにもまずは分別を促進し、燃やすごみを減量していくことが喫緊の課題である。

ただ、他市町と比べても丹波市民の分別度合いは進んでいるため、さらに分別を促進するには緻密な政策展開が必要である。

その点、燃やすごみ袋の半額に先行して令和 3 年 8 月に行われたプラスチック系ごみ袋の減額でプラスチック製容器包装の分別が進んだ。

一方で、その分別習慣を促す施策を打ち出す前に燃やすごみ袋を半額にしてしまえば、市民の分別が抑制されることが懸念される。

だから議会からはまず分別習慣を促す施策を打つように提案してきたが、残念ながらプラスチック製容器包装以外の分別施策は一つも打ち出していない。生ごみ、剪定枝、雑がみなどに関しても補正予算を組んでもまずは行政が分別促進施策を打つべきだった。

これらの状況を考えると、審議会の議論の中にもあった「半額化はもっと先で行うのがよいのではないか」という意見をもっと真摯に受け止め、燃やすごみ袋の半額化は先延ばしにすべきと考える。

※ 審議会：廃棄物減量等推進審議会のこと。

■議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

12月定例会

議 案	
案人件	○ 教育委員会委員の任命 上羽裕樹 氏
令和3年度補正予算	○ 一般会計（第6号）
	○ 一般会計（第7号）
	○ 一般会計（第8号）
	○ 国民健康保険特別会計事業勘定（第3号）
	○ 介護保険特別会計保険事業勘定（第2号）
制定	○ 後期高齢者医療特別会計（第2号）
	○ 下水道事業会計（第2号）
改正	○ 健康づくり推進協議会設置条例（健康福祉推進協議会と食育推進会議の統合）
改正	○ 行政組織条例
改正	○ 国民健康保険条例
廃止	○ 老人福祉センター条例 特

議 案	
契約締結	○ 情報系パソコン購入
	○ 柏原・氷上学校給食センター第2期厨房機器購入
その他	○ 柏原福祉センター「木の根センター」に係る指定管理者の指定
	○ 春日福祉センター「ハートフルかすが」に係る指定管理者の指定
	○ 山南福祉センター「さんなん荘」に係る指定管理者の指定
請願	○ 丹波いっぴく茶屋に係る指定管理者の指定
意見書	○ オーガニック給食の実現に向けて取り組みを求める請願 ※ 13 ページに掲載
	○ 文書通信交通滞在費に関する制度見直しを求める意見書 ※ 13 ページに掲載 意見書の詳細はこちら→



議案の審議結果



審議結果

賛否が分かれた議案と審議結果

議 案		結 果	賛 成	反 対	小川庄策	足立嘉正	酒井浩二	西脇秀隆	西本嘉宏	奥村正行	前川進介	谷水雄一	吉積 毅	小橋昭彦	垣内廣明	太田一誠	太田喜一郎	太西ひろ美	近藤憲生	山名隆衛	渡辺秀幸	広田まゆみ	須原弥生	藤原 悟
動議	廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例の再付託	可 決	14	5	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	議長
条例改正	廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例	否 決	6	13	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	議長

※ ○は賛成、●は反対、退は退席、■は賛成・反対討論を行った議員。

※ 議長は議事進行を行うため、原則として採決には加わりません。

※ 特別多数議決 **特**：重要な公の施設の廃止など、特に重要な議案については3分の2以上の賛成を必要とし、議長も採決に加わります。

議会運営委員会 委員長に西本嘉宏議員が就任

令和3年12月23日、太田喜一郎議員から議会運営委員会の委員長辞任の申し出がありました。

後任として西本嘉宏議員が委員長に就任しました。

○ 議会運営委員会（令和3年12月23日～）

委員長 西本 嘉宏

副委員長 須原 弥生

委員 奥村 正行

太田 一誠

近藤 憲生

吉積 毅

太田 喜一郎

どうなるの？
“恐竜”を活かしたまちづくり

～恐竜化石担当部署を産業経済部から教育委員会に移管します～

第4次丹波市定員適正化計画における職員数削減の方向性を考慮しつつ、さまざまな行政課題に対応するため効率的かつ機能的な業務体制の確立を目指し、丹波市行政組織条例が改正されました。



問 恐竜化石担当部署をなぜ教育委員会に移管するのか。

答 学術的・文化的要素を考慮し、教育面における活用を促すためです。そのため、県立人と自然の博物館や市内の社会教育施設などと連携の強化を図っていきます。

問 教育委員会の受け入れ体制はどうなっているのか。また、学芸員といった専門職員の配置は。

答 現在、「ちーたんの館」に配属している職員をそのまま教育委員会へ移管します。また、現在在職している専門職員の配置を調整しています。

問 市長部局直轄であった「恐竜を活かしたまちづくり」を今後どう考えているのか。観光振興はどうするのか。

答 当然、貴重な経営資源として今後も有効に活用していきます。観光課など今まで関係のあった部署とは引き続き、連携を維持していきます。



丹波竜の里公園 丹波竜のモニュメント

令和3年12月補正予算（第7号）

～障害福祉サービス給付事業について～



問 毎年、補正予算で増額となっているが当初予算では見込めないものか。今回の増額要因は？

答 令和3年度の当初予算は、令和2年度の10.53%増を見込んでおり、国の5.8%を上回る見込みをしていましたが、見込み以上となるため増額補正となりました。今回の主な増額要因は、

1. 重度障がい者などの在宅生活を支援する「重度訪問介護」の利用件数やサービス時間の増

2. 短期間の入所・宿泊利用が可能な施設の増（1件）により、利用者の選択肢が増えた利用増
3. 共同生活援助（グループホーム）の事業所増（1件）による利用者見込み増

の3点です。

自立した生活を送るためには、訪問介護サービスやグループホームなど障害福祉サービスの利用は欠かせないものです。



丹波市道路整備計画の進捗は

答

国の交付金配分の財源が厳しい状況で事業進捗が遅れが生じています。

問 都市計画マスタープランにおける生活圏域間及び広域の連携強化の為に幹線道路網の計画的な整備及び地域要望を踏まえた国道へのアクセス道路の整備をどう進めるのか。また、朝夕など交通渋滞が恒常化する丹波医療センター周辺道路及び広域拠点市街地の稲継交差点周辺の渋滞解消と緩和対策はあるのか。

答 都市計画マスタープラン対象期間を10年間とし、策定時点である程度見通しが可能な事項を示し、内容に弾力性をもたせています。また、地域地域幹線道路は丹波市道路整備計画により体系・計画的に整備してまいります。医療セン

ター及び稲継交差点周辺の道路管理者は国や県であり、引続き渋滞解消に向け協議を進めてまいります。

山地防災・土砂災害対策を問う

問 土砂災害警戒（特別）区域での山裾の住家などの余裕域の設置状況と安全確保（地すべり、土石流など）の調査や防災対策をどう進めるのか。

答 「森林環境譲与税」を活用した「緊急里山林整備事業」や「未整備林広葉樹転換促進事業」により森林整備を実施しており、今後におきまして、自治会など地域のニーズをしっかりと踏まえながら「災害に強い森づくり」を目指し取り組みでまいります。

「森林環境譲与税」を活用した「緊急里山林整備事業」や「未整備林広葉樹転換促進事業」により森林整備を実施しており、今後におきまして、自治会など地域のニーズをしっかりと踏まえながら「災害に強い森づくり」を目指し取り組みでまいります。

都市計画マスタープラン：都市計画法第18条の2第1項の規定に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」。令和4年度から概ね20年後の都市の姿を展望しながら、令和13年度を目標年次とする。



増加していく耕作放棄地



耕作放棄地への対策は

答

農地の適正管理の啓発活動の強化及び担い手や農地再生の支援に努めます。

問 農業委員会の農地パトロールによると、遊休農地がH29年7.5haからR3年32haと大きく増えている原因はなにか。また、対策は。

答 農業者の高齢化による労働力不足が大きな要因です。農業委員会と協力して適正管理に向けた啓発活動の強化と併せて、集落営農組織などの担い手の経営基盤の強化、農地再生の支援に取り組みしていきます。

問 コロナ禍で米価の大きな下落が起こっている。耕作者を励ます施策をしないのか。

答 市としては、稲作を主としている農業者に対して「高収益作物等作付転換促進事業補助金」により支援していきたいと考えています。

インフルエンザ予防接種の補助金の拡充を

問 近隣市町と比べて、インフルエンザ予防接種自己負担が高いので補助の増額をすべきではないか。（65歳以上、丹波市1,500円、丹波篠山市1,000円、西脇市・多可町は無料）

答 丹波市と同等の自治体が多く、市が突出して高い状況ではありません。

問 コロナ禍で米価の大きな下落が起こっている。耕作者を励ます施策をしないのか。

答 市としては、稲作を主としている農業者に対して「高収益作物等作付転換促進事業補助金」により支援していきたいと考えています。

インフルエンザ予防接種の補助金の拡充を

問 近隣市町と比べて、インフルエンザ予防接種自己負担が高いので補助の増額をすべきではないか。（65歳以上、丹波市1,500円、丹波篠山市1,000円、西脇市・多可町は無料）

答 丹波市と同等の自治体が多く、市が突出して高い状況ではありません。



利用しやすいおでかけサポートに

答

制度見直し後のご意見を伺い、今後の利用に反映していきます。

問 激変緩和措置を経て、令和5年の検証までに利用者のご意見をどのように集約するのか。また、利用券は通院と社会的交流で利用枚数が異なるが、同枚数にして自由に使えるようにすべきでは。

答 予約受付時や各種団体から伺ったご意見などを踏まえ、令和6年度から見直しについて検討してまいります。利用券の異なる枚数については、利用率からみて問題はないと考えますが、今後の利用実績に注視してまいります。

図書館で無料託児サービス

問 子育て中の保護者が図書館を利用

答 子育て中の保護者が図書館を利用



子育て学習センター内に図書室があるゆめわく柏原

用しやすくするため、図書館や子育て学習センターで無料託児支援はできないか。

答 図書館ではスペースや人材の確保などの課題があり、子育て学習センターは親子での利用が前提の施設のため、実施は困難と考えます。しかしながら、他の自治体の取組も参考に検討してまいります。



相続放棄田畑の適正な管理は

答

原理原則を踏まえて、耕作放棄地の解消に努めています。

問 相続放棄された田畑の耕作放棄地の対策はどうなっているか。

答 相続財産管理人が選任されるまでは、農業委員会が相続放棄者に対し適正管理を指導しています。

また、未登記による所有者不明地は農地中間管理機構を通じ、担い手への貸付を目的とした「公示制度」や「同意手続き特例」を活用しています。

問 相続財産管理人などの管理者が定まるまで、長期間を要しないか。

答 所有者不明地の管理が定まるまで、これまで31ヶ月かかっていましたが、21ヶ月と短縮されました。



通学路の見通しの悪くなった放棄地

問 通学路上にある相続放棄地による見通しの悪い箇所の対応はどうか。

答 地元自治会、学

問 校長誕生から1年が過ぎ、その方向性や成果・土台づくりの施策はいかに考えるのか。

答 成果、効果を物

問 市長公約はどこまで約束どおり実施したのか。それは政策なのか、思いなのか。

答 自分の思いを叶

問 市長誕生から1年が過ぎ、その方向性や成果・土台づくりの施策はいかに考えるのか。

答 成果、効果を物

問 市長公約はどこまで約束どおり実施したのか。それは政策なのか、思いなのか。

答 自分の思いを叶

問 市長公約はどこまで約束どおり実施したのか。それは政策なのか、思いなのか。

答 自分の思いを叶

問 市長誕生から1年が過ぎ、その方向性や成果・土台づくりの施策はいかに考えるのか。

答 成果、効果を物

問 市長公約はどこまで約束どおり実施したのか。それは政策なのか、思いなのか。

答 自分の思いを叶

問 市長公約はどこまで約束どおり実施したのか。それは政策なのか、思いなのか。

答 自分の思いを叶

問 本年4月に本庁舎内に新設されたふるさと定住促進課の移住施策の成果と丹波市への人の流れの変化はどうなっているのか。

答 市民が誇りを持つ

問 新過疎法を市の最重要施策にするこ

問 新過疎法による

問 青垣地域の持続

問 市長公約はどこ

問 市長公約はどこ

問 市長公約はどこ

問 市長公約はどこ

問 現在、都市計画マスタープランが改定中であるが、国の「まちなかウォーカブル推進事業」を活用して城下町や宿場町の景観を残す地区の町並み景観整備の取組はできないか。

答 「まちなかウォーカブル推進事業」は、丹波市の城下町や宿場町の歴史的町並みを活かして、活性化を図れる可能性のある具体的事業メニューの一つであると考えますが、公民連携事業でもあると思われることもに制度創設から間もないことから、今後も国の動きや他市の事例などを注視し、さまざまな事業の研究を継続していきたいと考えております。

問 現在、都市計画マスタープランが改定中であるが、国の「まちなかウォーカブル推進事業」を活用して城下町や宿場町の景観を残す地区の町並み景観整備の取組はできないか。

答 「まちなかウォーカブル推進事業」は、丹波市の城下町や宿場町の歴史的町並みを活かして、活性化を図れる可能性のある具体的事業メニューの一つであると考えますが、公民連携事業でもあると思われることもに制度創設から間もないことから、今後も国の動きや他市の事例などを注視し、さまざまな事業の研究を継続していきたいと考えております。

問 現在、都市計画マスタープランが改定中であるが、国の「まちなかウォーカブル推進事業」を活用して城下町や宿場町の景観を残す地区の町並み景観整備の取組はできないか。

答 「まちなかウォーカブル推進事業」は、丹波市の城下町や宿場町の歴史的町並みを活かして、活性化を図れる可能性のある具体的事業メニューの一つであると考えますが、公民連携事業でもあると思われることもに制度創設から間もないことから、今後も国の動きや他市の事例などを注視し、さまざまな事業の研究を継続していきたいと考えております。

問 現在、都市計画マスタープランが改定中であるが、国の「まちなかウォーカブル推進事業」を活用して城下町や宿場町の景観を残す地区の町並み景観整備の取組はできないか。

答 「まちなかウォーカブル推進事業」は、丹波市の城下町や宿場町の歴史的町並みを活かして、活性化を図れる可能性のある具体的事業メニューの一つであると考えますが、公民連携事業でもあると思われることもに制度創設から間もないことから、今後も国の動きや他市の事例などを注視し、さまざまな事業の研究を継続していきたいと考えております。

問 現在、都市計画マスタープランが改定中であるが、国の「まちなかウォーカブル推進事業」を活用して城下町や宿場町の景観を残す地区の町並み景観整備の取組はできないか。



同性パートナーシップ制度への取組を！

問 前回提案時には「同性パートナーシップ制度」について、今後審議会で議論いただくという回答だったが、現在の進捗状況はどうか。

答 性的マイノリティの人権に関する教育・啓発を推進してまいります。それと共に、「同性パートナーシップ制度」の導入に向けて、調査・研究を進めてまいります。

問 「自己肯定感」を大切にしたい子育て支援を！

答 ワンオペ育児やアウェイ育児、孤立などによるうつや虐待につながるためにも、妊娠期の親への「自己肯定感」を高める学習の場を確保すべきではないか。

答 妊婦やそのパートナー、家族が自分自身を大切に思い自己肯定感を高める必要性があります。その気づききっかけとなるようリーフレットの配布啓発を検討してまいります。

分自身を大切に思い自己肯定感を高める必要性があります。その気づききっかけとなるようリーフレットの配布啓発を検討してまいります。

ひとり親家庭の養育費確保支援を！

問 養育費の未払いが子どもに貧困へとつながりやすくなる。離婚時の公正証書作成費補助と1年分の保証料を補助対象にすべきでは。

答 アンケート結果より、子どもの成長に不可欠な経済的基盤となる養育費確保支援の必要があると考え、現在実施に向けた協議・検討を進めているところです。

同性パートナーシップ制度：自治体が同性カップルを婚姻と同等に公認する制度。
ワンオペ育児：母親が育児や家事を一人で担うこと。
アウェイ育児：自分の育った市区町村以外で子育てすること。



国保税「均等割」軽減の拡充を

問 来年度から未就学児を対象に、国保税の「均等割」が5割軽減となるが、どの程度か。

答 今年10月の試算では未就学児312人で、軽減額合計が316万円。市負担額は約79万円となります。

問 市独自の子育て支援として、対象者を中学校又は高校卒業まで拡充することは。

答 市独自施策として、軽減措置の拡充については、現時点では考えておりませんが、今後の検討課題とします。

法定外公共物と市道路線の認定について

問 法定外公共物の管理責任は誰にあるのか。

市に所有者としての管理責任があります。路上の動物死骸等の除去は、検討します。

問 民間業者の住宅開発などにより市が寄付受納した法定外公共物で、市道認定路線の要件に該当するものがあるのでは。

答 寄付受納した道路の多くは開発道路で、市道認定はしていません。

問 市道認定要件の中に「建築基準法第42条第1項第5号に該当しない」とあるが、これを廃止とされたい。

答 開発行為の道路は建築基準法上の位置指定道路であり、市道認定していません。この廃止は考えていません。

法定外公共物：道路、河川等の公共物のうち、道路法や河川法などの適用や準用を受けない公共物のこと。



公的支援の考え方について

問 市から引き継いだ事業を行ってある事業者へは補助の考え方だけでなく、しっかりと公的支援としての考え方が必要ではないか。

答 例えば、浄化槽保守点検業務は水上多可衛生事務組合から市が引き継ぎ、市から浄化槽管理組合へと引き継いでいます。浄化槽の適正管理、河川環境の保全、地域の生活環境の保全と重要な業務であり、今後も継続的・安定的な運営へ、業務実施についての補助の形で公的支援を行いたいと考えています。

問 燃やすごみの減量に向け、多くの市民の方は行動変容の「維持期」に

あると思われるが、未だ「無関心から準備」の方へのアプローチは。ごみの分別について、意識の高くない方についてもごみの分別の役割を理解してもらえよう市の広報紙、ホームページ、SNSなどを活用し、繰り返し継続的に効果的に啓発してまいります。

行動変容における、5つのステージ

1. 無関心 : 興味が無い
2. 関心 : 関心はあるが、実行する意思はない
3. 準備 : 実行したいと思っている
4. 実行 : 実行しているが、持続する自信はない
5. 維持 : 実行を継続する自信がある

行動変容による5つのステージ

行動変容：人の行動が変化すること。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。



三ツ塚周辺を子育てモデル拠点に

問 ニーズの高い子ども向け屋内遊戯施設が、北近畿一円に数少ない。ライフピアいちじまを改装することで、隣接する児童公園を含めて三ツ塚史跡公園周辺を子育て支援のモデル拠点とすれば、子育てにやさしい丹波市ブランドの打ち出しに役立つと考えるがいかがか。

その視点を持つて、できるところから取り組んでいきます。

答 子ども向け屋内遊戯施設は山南中央公園の機能移転先の和田中学校跡地に整備する方向で検討しています。現時点でライフピアいちじまに整備する計画はありませんが、現在施設内にある子育て学習センター活動室の一般利用の促進など、可能なところから充実を目指します。

周辺にオーガニック飲食店の出店・集積を促すことで、子育て世代向けに地域の魅力を高め、経済効果も期待できるのでは。

答 有機農産物の新たな販路の拡大につながるものと共感するところです。国によるみどりの食料システム戦略での活用を含め研究します。



子ども向け屋内遊戯施設の施設位置図。三ツ塚史跡公園は空白地帯の中心に位置する。

国に対して 意見書を提出しました

文書通信交通滞在費に関する制度見直しを求める意見書

令和3年10月31日投開票の衆議院議員選挙の当選者に対し文書通信交通滞在費（以下「文通費」という。）10月分が満額支給されたことに端を発し、文通費の扱いについて多くの国民から批判的な声が上がっている。文通費とは、国会法第38条で「公の書類を発送し及び公の性質を有する通信をなす等のため」と規定されており、全ての国会議員に毎月100万円が支給されている。

法律上、当該手当については、使途報告の提出・領収書の添付・残金の返還等の規定はなく、その原資はすべて国民が納めた税金から支給されており、使途とその支出額を明確にしない特権的な現法のままでは、国民の政治不信は治らない。

地方議会ではかねて、政務活動費において市民の不信を招き、改革を重ねてきた。この経緯を踏まえ、文通費においても、納税者から納得される国会議員の活動の在り方となるためにも、下記事項について、早急に所要の法改正等を講じられるよう、強く求める。

1. 文通費の使途については、活動内容がわかる書類及び領収書を添付した収支報告書の提出並びにインターネットでの公開を責務とする規定を設けること。
2. 文通費に関しては実費精算とし、趣旨に反する使用に関し支給されることがないように、別途詳細なルールを法令で定めること。
3. 文通費の支出内容は、可能な限りデジタル記録を残せるよう、努力規定を設けること。

オーガニック給食の実現に向けて取り組みを求める請願

請願者：丹波優しい給食の会
代表 藤本理恵氏
紹介議員：山名隆衛 議員
小橋昭彦 議員
前川進介 議員

【請願の趣旨】

1. 学校給食運営基本計画において有機農産物の利用促進について明記し、オーガニック給食の実現に向けての取り組みを進めてください。
2. オーガニック給食の実現に向けて、生産面を含む多角的な仕組み作りを協議する場を月1回など定期的に設けてください。
3. 1学期に1度など回数を絞る、あるいは米飯から導入するなど品目を絞る等々、まずはできることから実現し、拡充を図ってください。



請願審査の様子

市民との意見交換会 主な意見

市議会議員選挙には年齢に関係なく、たくさんの方が立候補できる体制を作してほしい。

「SDGsの日」を作ってはどうか。

若い親子が身近に遊べる公園が必要。

議員報酬と定数はセットで考えるべき。

ゴミの減量化について行政側が周知しているのか。もっと啓発を。

妊娠初期のための「妊娠休暇制度」が必要。

将来の農業や栗園等の人手の対策に議員との協議の場が欲しい。

「もったいない日」丹波市全体で取組を。

雑がみの回収について細かく内容を周知すべき。

市議会ホームページにすべてのご意見を掲載しています。

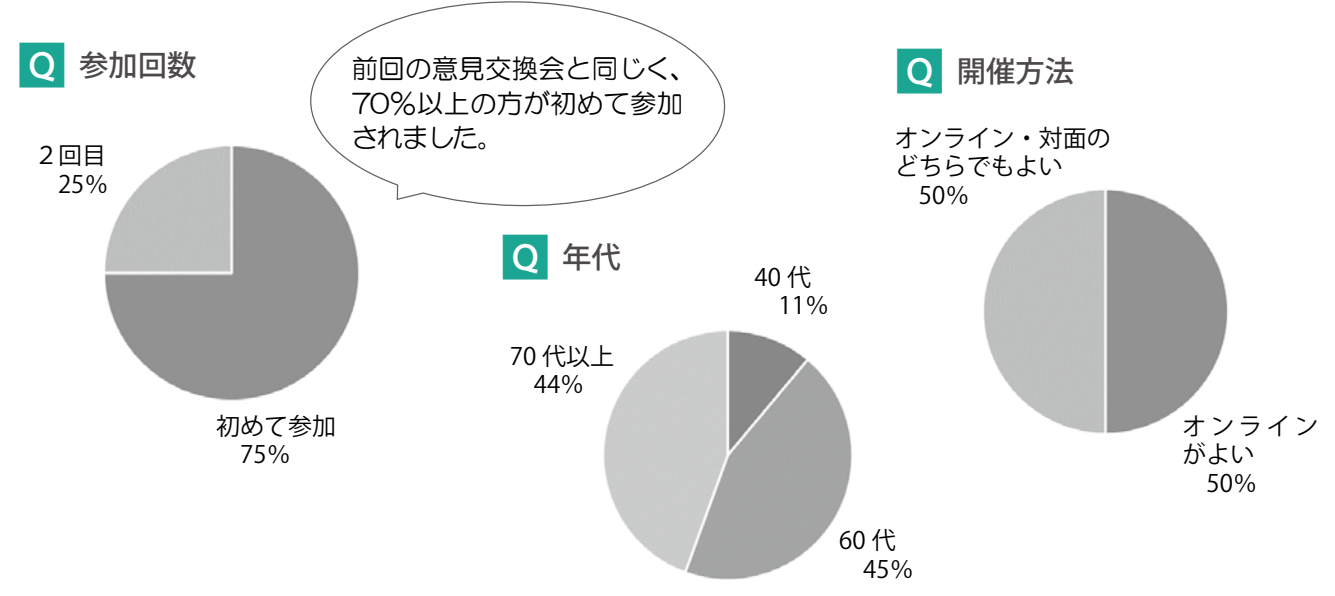




オンラインでの意見交換会の様子 ▶

意見交換会

令和3年度 第2回市民との意見交換会 参加者アンケートの結果から



開かれた市議会づくりを目指して！

市議会では、平成29年6月に議会改革特別委員会を設置し、翌年9月28日、「丹波市議会基本条例」を改正しました。

議会報告会（現在の意見交換会）をはじめとする広報広聴事業のあり方、ネット中継の方法、政務活動費を精算（事後）払いにするなどその他多くの課題に対して改革を行ってきております。

基本原則として市民参画を定めており、今回は社会福祉協議会との懇談会と市民との意見交換会の模様についてお知らせします。

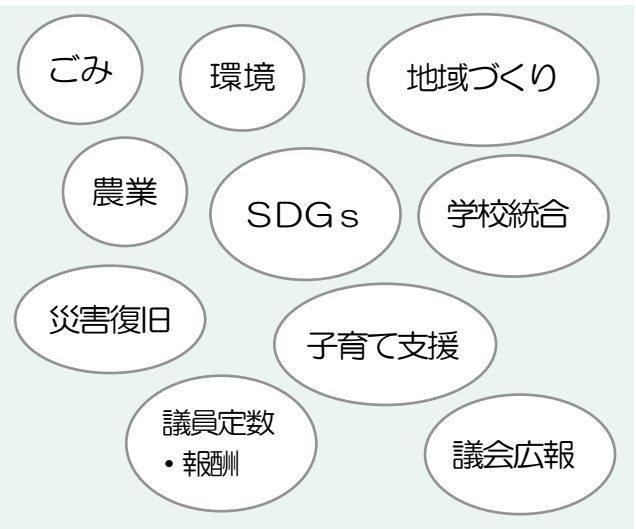
市民との意見交換会

コロナ禍では対面での広聴活動が困難であることから、令和3年度2回目となるオンライン（Zoom）での「市民との意見交換会」を令和3年11月16日に実施しました。

今回、5つのテーマを設けて募集しました。また、参加者の方から意見交換したい内容を事前に募りました。

当日は9名の参加があり、市民の皆さんの声を聴かせていただきました。

皆さんからいただいた貴重な意見は各委員会で分類・整理を行い、「市へ伝達するもの」については市長に文書で報告しました。



今回、意見交換を行った主なテーマ

社会福祉協議会との懇談会

令和3年11月2日に丹波市社会福祉協議会（以下「社協」という。）からの申し入れがあり、懇談会を実施しました。

社協からは会長をはじめ、17名の方にご参加いただきました。

懇談会では、社協から「事業、財政状況、事務所」について説明を受け、市との連携や社協の地域福祉の推進に関する取組、介護事業の実態、財政状況など幅広く意見交換を行いました。

社協の現状や課題を知り、有意義な懇談ができました。



丹波市社会福祉協議会との懇談会の様子



どうする？

このままでもいい？

市民の皆さまからの
ご意見を募集しています。

丹波市議会では令和3年6月定例会より「議員定数・報酬等調査特別委員会」を設置し、現在の議員定数及び議員報酬等について調査研究を進めています。この度、市民の皆さまの率直な思いを聴くために、市内各所で車座ミーティングを開催することにしました。（詳細は18ページ）
少人数で話しやすい雰囲気の中で進めますので、皆さまのご意見をお待ちしています。

時代状況の変化を踏まえて
議論を進めています。

丹波市議会の議員定数については、平成22年度に24人から20人に削減しました。以降、人口などを含め、状況は変化しています。

また、議員報酬については令和元年度の丹波市特別職報酬等審議会の答申に基づき、令和2年4月に改定したところです。この度、定数調査と併せ、費用弁償や政務活動費とともに調査研究を行うこととしました。

市民との意見交換会では
思いきった提案も！

11月に行われた市民との意見交換会では、このテーマでのグループが作られました。その場では「他市から若い人材を呼びこめるくらいに報酬を上げてはどうか」と思いきった改革の提案もいただきました。

議員定数と議員報酬



あなたはどうか考える？議員定数の論点

市議会の会議は、全員が出席する「本会議」と専門分野ごとに分かれて行う「委員会」などからなります。議員間で議論する時間は全体の2～3割で、多くの時間は市当局の出席を求め、議案や進行中の事務についての質疑を行っています。

市民の多様な声を反映するには一定数必要。でも丹波市より人口の多い市でもっと定数が少ないところもあるんだ。

1人当たり 3,162 人
人口／議員数

1人当たり 24.66km²
面積／議員数

山林などの土地も行政の対象だから人口比例だけでは考えづらい。丹波市は県下でも広い方。より広いのは豊岡市。

他市平均の7～8人より多い。丹波市議会は2委員会制で所管も広く、多様な意見を反映させる人数が求められる。

1委員会 10人
議員数／委員会数

市民の多様な声を受けて活発な議論を行うことが議会の基本。丹波市議会は総務文教常任委員会と民生産建常任委員会各10人ずつ、予算決算常任委員会は議長を除く19人で構成し、議論を行っています。

適正な議員報酬ってどのくらい？



市民との意見交換会で「若い人が立候補しやすいように」との声が出ました。市議会の年間の会議開催回数は約160回。年間で審議する議案は100件を超えます。そのための準備のほか、各種の研修や視察などへの参加が必要です。その他にも、行事への出席など市民の方との交流のような政治活動にも時間を要します。

報酬
346,000 円／月

県下で下から3番目の水準。

財政に占める議員報酬の割合は他市より少ない。

長年据え置きの結果、他市より少ない。

期末手当
報酬月額×加算率 1.1 × 3.80 ケ月

費用弁償
基準単価×出席日数

※ 基準単価は交通費基準表に基づき
1日 400 円～1,600 円

支給しているのは市域が広い市だけ。

このほかに、政務活動費として議員1人当たり月額1万円を会派などに支給しています。政務活動費は、視察研修などに使った分だけ、半年ごとに請求書を添えて実費精算（後払い）としています。



※ ギカイクイズの答えは②です。

表紙の紹介

今月号の表紙は、兵庫県立柏原高等学校美術部の皆さんにご協力いただきました。
(裏表紙にも登場していただきました)

部員は7名で、そのうち5名にインタビューに答えていただきました。

コンセプトは「冬日和」
穏やかに、しかし厳しい丹波の冬に負けずに働く人をイメージされたそうです。

吉野 優美さん(作者)
足立 千夏さん
土田 さくらさん
近藤 春佳さん
足立 瑞希さん



ひとことメモ

美術部では、お互いにアドバイスをしあっています。とてもフレンドリーで楽しく部活をしています。

3月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24	25	26
					本会議 議案提案 9:30～	
27	28	3/1	2	3	4	5
				本会議 議案質疑 委員会付託 9:30～		
6	7	8	9	10	11	12
	総務文教 常任委員会 9:30～	民生産建 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 9:30～	常任委員会 予備日	本会議 議案採決 (当初予算 以外) 9:30～	
13	14	15	16	17	18	19
	本会議 一般質問 (代表・個人) 9:00～	本会議 一般質問 (個人) 9:00～	本会議 一般質問 (個人) 13:30～	予算決算 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 9:30～	
20	21	22	23	24	25	26
		予算決算 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 13:30～	予算決算 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 9:30～	
27	28	29	30	31	4/1	2
		本会議 議案採決 (当初予算) 9:30～				

*上記の日程は変更になる場合があります。
最新の情報はホームページなどでご確認ください。



知ってる!?

ギカイクイズ

高校生のアイデアでスタートした「知ってる!? ギカイクイズ」今回で8回目です。
議員や市議会のことを知る良い機会ですので、ぜひ皆さんで考えてみてください♪

【問題】

しぎかいぎいん りっこうほ
市議会議員に立候補できるのは
なんさい
何歳から?

- ① 18歳
- ② 25歳
- ③ 30歳



※答えは17ページの一番下

FM805たんば

「議員さん こんにちは!」で
「たんばりんぐ」情報発信中!

議会をもっと身近に



放送日

1月25日(火曜日)
午後8時30分～
※再放送は
1月29日(土曜日)
午後3時30分～

本会議や委員会の視聴は パソコン・スマホが便利♪

市議会では、本会議や委員会の様子をインターネットでライブ中継しています。
普段忙しくて傍聴に来ることができない方は、パソコン・スマホでご視聴ください。

議場工事のため、
2月24日までは
ライブ中継を停止
します。



ネット中継

※ライブ中継は本会議と委員会、録画映像は本会議のみ。

市議会では、「議員定数・報酬等調査特別委員会」を設置し、議員の適正な定数及び報酬などについて調査研究を行っています。

今後、さらに調査研究を進めていくため、「ギカイの仕組みと定数・報酬を考える車座ミーティング」を開催します。

市民の皆さんの議会に対する率直なご意見をお聞かせください。

ご参加をお待ちしています。



要事前
予約

各回定員
10名
(先着順)

「ギカイの仕組みと 定数・報酬を考える 車座ミーティング」 開催します

A 氷上地域

2月8日 火

氷上住民センター
大会議室

B 山南地域

2月9日 水

山南住民センター
集会室

C 春日地域

2月10日 木

春日住民センター
大会議室

いずれの日程も
19時30分

▼
21時00分

D 柏原地域

2月15日 火

柏原住民センター
会議室A

E 青垣地域

2月16日 水

青垣住民センター
大会議室

F 市島地域

2月17日 木

ライフピアいちじま
研修室3・4

【内容】

- 市議会の仕組み等
概要説明
- 意見交換

【申込方法】

①～③の事項を2月4日(金)までに
ikenkoukankai@city.tamba.lg.jp
のアドレスへのメール、電話またはFAXで
お申込みください。

- 氏名
- 電話番号(当日連絡ができる電話番号)
- 参加希望日(A～Fのうちいずれか)

【注意事項】

主催者の広報活動、記録のために録音、写真撮影をさせていただきます。
また、広報紙に写真を掲載させていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
参加者による録音、写真撮影は固くお断りいたします。

【お問い合わせ】 丹波市議会事務局

TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523

歩道を広く
してほしい。

電車の本数を
増やしてほしい。

休日のバスの
運行を増やして
ほしい。

柏原駅のタバコの
規制をしてほしい。



兵庫県立柏原高等学校 美術部の皆さん

丹波市と市議会のココに期待しています！

物の最後の
廃棄場所を
大切に
思ってください。



たくさんの方に
手作り石けんを
使って頂きたい。

皆さん、
石けん工房の見学に
来てください。



▲ 石けん作りの様子

循環型まちづくりをすすめる会の皆さん
廃食油を回収して石けんを作り、環境を守る活動をしています。

※ 写真撮影のためマスクを外しています。

※ 個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
氷上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	「広報広聴委員会」	議長	「発行責任者」
須弥	太田	谷水	西脇	小川	前川	広田	「発行責任者」	藤原	
一誠	雄一	秀隆	庄策	進介	まゆみ	悟			

あとがき
令和4年がはじまりました。昨年は9月までに緊急事態宣言や蔓延防止措置の期間が延べ260日にのぼり、経済そして地域イベントなど人が交わる活動が停滞しました。令和3年6月からはいったんクチン大規模接種や個別接種は、対象者の87%以上が接種されており、3回目の追加一般接種は令和4年2月からはじまります。接種券（黄色の大きな封筒）が順次届きます。
令和4年は市民の皆さまが笑顔あふれる年となることを願っています。